

NO. 3	議席番号	氏 名	質問事項・要旨及び答弁者
	4	竹 田 努	
<p>1. 環境にやさしいまちづくり</p> <p>鈴木町長就任4年目、任期の最終年となりました。就任以来の所信表明、3年間の町政執行方針をあらためて一読させていただきました。</p> <p>コロナ禍の中で、さまざまな制約、制限のある中、子育て支援策、一次産業振興策では特に漁業応援補助、移住定住促進施策等々をはじめ、多くの事業を実行してきたものと感じています。</p> <p>私は常日頃から町の課題は人口減少と財政であると認識しており、町長就任時は人口も4千人台を割り込んだものの、財政的にも何とか維持してきたものと思っています。</p> <p>人口は毎年約100人前後減少し、現在では3,600人台になったものの、幸いにして地方交付税、財政調整基金等は大きく減少していない現状です。</p> <p>財政的に多少余裕のあるうちに整理しなければならない事業として、旧中学校の解体、佐女川跨線人道橋の撤去等が考えられますが、財源については危惧するところであります。</p> <p>当町は、脱炭素社会の実現に向け、6月には「ゼロカーボン木古内」を宣言したところであります。</p> <p>また、同月、木古内風力開発株式会社が設立され、11月には株式会社エスプールと、ゼロカーボンシティを目指し、包括連携協定を締結したところであります。</p> <p>町長の目指す「脱炭素社会」実現のため、段階的に推進すべきと考えることから、以下の事項について町長の見解を伺います。</p> <p>(1) 公共施設での再生可能エネルギーの活用</p> <p>(2) 公用車のEV（電気自動車）の導入</p> <p>(3) 公共施設のLED整備計画</p>			町 長